

地球科学 60 卷、73～75 (2006 年)

Earth Science (Chikyu Kagaku) vol.60.73-75 2006

地学列伝

江原真伍の生涯と業績

今井 功 *

Shinngo Ehara's life and geological works

IMAI Isao *



写真1 江原真伍

経歴

江原真伍は明治 17 年 (1884) 7 月 16 日、鬼怒川沿いの茨城県結城の在に生まれる。栃木県立栃木中学校を経て金沢の第四高等学校に学び、明治 40 年 (1907) に東京帝国大学理科動物学科に入学、翌年転科して地質学科の 1 回生となった。ここで小藤紋次郎に地質学と岩石学を、神保小虎に鉱物学を、横山又次郎に地史学と古生物を学んだ。同期には中尾清蔵、河村幹雄、久慈幹雄、碧海康温らがいた。江原は明治 44 年 (1911) に東京帝国大学理科大学地質学教室の助手となり、矢部長克の指導のもとに岩手県宮古付近の化石を調べた (Yabe and Yehara 1913)。

大正 6 年 (1917) に、当時東北大学に在籍していた佐川栄次郎の勧めで三井鉱山に入社し、三池炭田や倶知安鉄鉱などを調査している。しかし同 9 年に今日との第三高等学校の講師となり、11 年には大阪高等学校の教授を兼任した。この教師の時期は昭和 18 年 (1943) まで続く、彼の四国の地質の研究や太平洋運動の提唱 (江原 1940) はいずれもこの教師の時期になされたものである。彼は昭和 20 年 (1945) に立命館専門学校理学科地質鉱物学科教授となり、同年 23 年、立命館大学工学部教授になった。昭和 28 年 (1963) には同大学文学部地理学科の教授にもなっている。この時期に彼は太平洋地体構造論を提唱した。江原真伍の夫人は鈴木醇の姉にあたり、江原と鈴木醇とは親しく交際していた。昭和 39 年 (1964) 6 月 29 日、江原は 79 才で永眠した。